



学校評価アンケート結果報告

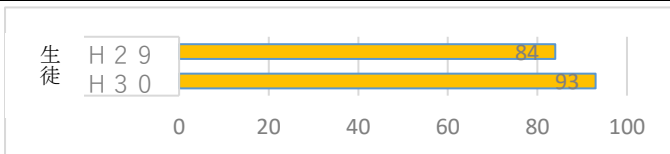
校長 西村 隆正

本校では、よりよい学校づくり、魅力ある学校づくりをめざして、日々取り組みを行っています。その成果と課題を検証し、更なる改善を図る機会として、本年度も学校評価アンケートを実施しました。集計結果に分析を加え、解決すべき課題とその改善策について、本校ホームページに「学校評価書」として掲載しましたのでご高覧ください。ここでは、その一部をご報告いたします。今後益々のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

〈隠岐高等学校ホームページURL〉 <http://www.oki-hs.ed.jp/>

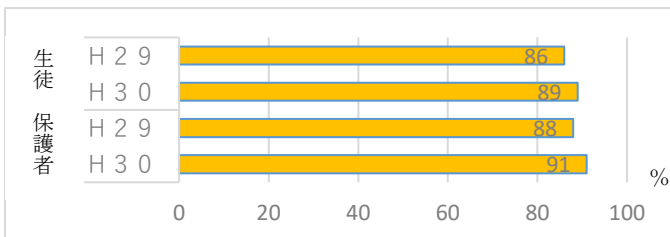
なお、アンケートの集計方法は、「わからない」を除いた有効回答を分母とし、「十分に達成できている状況」、「概ね達成できている状況」の肯定的評価をいただいた回答の占める割合を百分率で表示しています。

(Q) ICT機器の活用や言語活動を取り入れた授業等、理解を深め学力を向上させるための工夫が行われているか



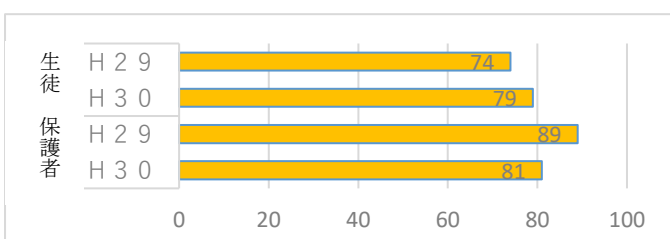
今年度から全普通教室にプロジェクター、実物投影機、教師用タブレットを配置し授業に活用しています。

(Q) 進路講演会、進路ガイダンス、インターンシップ等のキャリア教育は自己実現を支援するものとなっているか



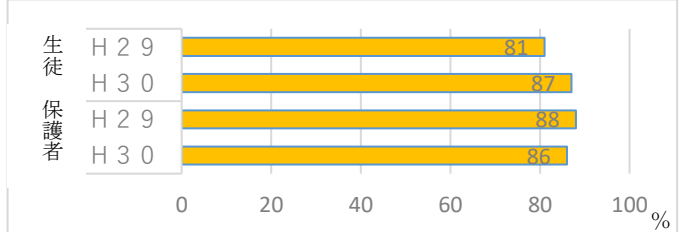
本校では様々な機会を捉え、生徒の視野を拓げ自らのキャリア形成につなげています。

(Q) 「いじめに関するアンケート」や生徒面談、スクールカウンセラー事業等は、生徒一人一人を理解・支援するもの



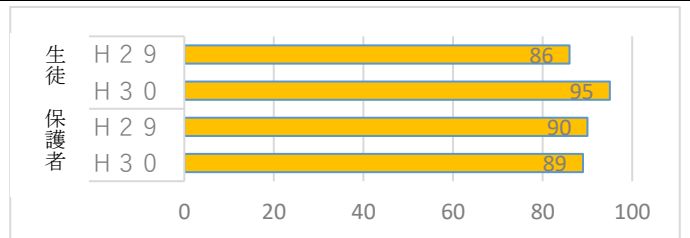
今後も安心して学校生活を送れるよう生徒一人一人の支援に努めていきます。

(Q) 隠岐ジオパーク研究（地域課題解決型学習）や関西研修旅行は魅力ある教育活動になっていると思うか



今後も地域の方々や外部機関のご協力をいただきながら、より魅力ある教育活動にしていきたいと思います。

(Q) 隠岐ジオパーク研究や地域ボランティア活動、販売実習等の地域と関わりのある活動は、地域に開かれた学校づくりにつながっていると思うか



地域や外部機関の方々を招いてのジオパーク研究の成果発表や地域へ出向いての活動や実習等を計画的に行っています。

その他にもいくつかの質問項目がありますが、その中で、評価がやや低く、今後改善が必要であると考えている項目は次の3点です。

(1) 家庭学習時間

学習意欲の高揚につながる取り組みを充実させ、家庭学習の量・質ともに改善していきます。

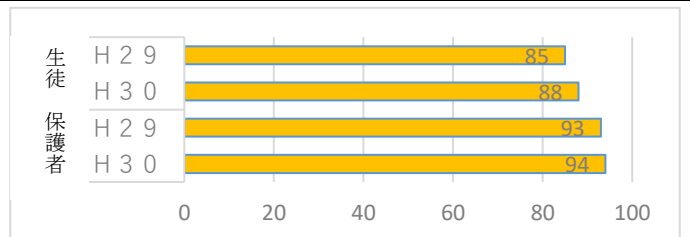
(2) 進路実現への取り組み

夏季補習や土曜補習、3年生の放課後補習など、生徒自らが主体的に取り組めるよう工夫していきます。

(3) 読書活動

読書の意義を伝え、図書館の幅広い利用を促進していきます。

(Q) 学習活動や部活動、良好な人間関係の構築、進路実現など様々な面において、隠岐高校へ進学して良かったと思うか



生徒、保護者の皆さんにとって、本校が益々魅力ある学校になるように、今後も努めていきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

国際交流 in オーストラリア

帰国報告

引率者 教諭 若月正弘

2月8日(金)～2月17日(日)まで隠岐の島町教育委員会の主催でオーストラリアのマッキロップ校を隠岐高生6名が訪問しました。

初日はテイドビンビラ自然保護区へ自然観察に訪れました。現地の森林管理員のわかりやすい英語での説明でした。コアラやカンガルーの生態や自然発火の仕組み(乾燥気候で樹脂によって自然発火)を学び、またアボリジニの生活の跡も見ることができました。

3日目に高等部で全校集会があり、校長先生の講話がありました。そこで自分の決断に責任を持つようになること、また「リーダーシップ」の重要性を語られました。地域社会への貢献が強調されており、皆地域貢献の決意を新たにしました。その後隠岐の島町使節団全員が一人一人挨拶を行いました。急遽予定変更で入った企画でしたが、

隠岐高生6名は威風堂々と英語で見事な自己紹介を成し遂げました。その後、フランス人学生訪問団とバスで市



内視察にでかけ、国立美術館や周辺を散策し、バリー人工湖のクルージングも楽しみました。後日、隠岐高生の自己紹介に感銘を受けられた校長先生から、「私が校長である限り、隠岐の島町との交流を発展させていきたい。今後滞在期間をさらに延長する用意がある。」とのご提案をいただきました。

2日目と4日目は日本語の授業や体育や家庭科の授業を見学・体験させていただきました。4日目の日本語の授業で隠岐高は島の魅力を伝える2つのプレゼンテーションをしました。2年生男子生徒が渾身の「四股」を実演し、見せて隠岐人としての心意気を見せることができました。

最終日はキャンベラ市内にある「オーストラリア戦争記念館」を訪問しました。丁寧な英語の説明を聞きながら館内を見て回りました。生徒は時間ぎりぎりまで太平洋戦争の歴史や遺品を真剣に見聞きしており、担当のポール先生から「Your students are respectable.」と「きちんとした行動をとられる」と褒めていただきました。



最終日、お別れパーティーに来て下さった隠岐高生6名のホストファミリーの方々にお礼を述べまし

た。「英語力が初日より向上しましたよ。機会があればまた来て下さいね。」と言って下さいました。「私達オーストラリア人は民族の多様性に寛容であり、さまざまな人たちと

の交流を楽しみたいのです。」という言葉が印象的でした。生徒達は空港でホストファミリーの方々と涙のお別れをしていました。この感動を一人でも多くの島民の皆様にお伝えすることが彼らの使命ではないかと思えます。今回派遣していただいた隠岐高生6名がさらに英語に取り組み、自分の考えや隠岐の島のことを世界に発信できるように願っています。最後にこのような素晴らしい国際交流を開催していただいた隠岐の島町に心からの感謝を申し上げます。

県知事へのプレゼン

2月26日(火)3年生の黒川君と齋藤君が、県庁で行われた「高校生が考える『島根の魅力』」を溝口知事にプレゼンをする会に参加しました。これは県広報室主催で、出雲や石見、隠岐の高校生が秋ごろに各地区ごとに集まって、ご当地ならではの話題(ネタ)をまとめた本が完成したことに伴うものです。二人は隠岐地区の高校生の会に秋から参加し、このたび隠岐の魅力や隠岐ならではの話を知事に大変わかりやすく説明しました。なお、各地区の魅力や話題をまとめた本「しまねのネタ本」は今春県内の高校を卒業する生徒全員に配布されます。



隠岐高校ホームページのご案内

学校行事や部活動の大会結果等は、随時隠岐高校ホームページでお知らせいたします。

<http://www.oki-hs.ed.jp/>